

親愛なる友人の皆様

拝啓

世界的な COVID-19 の大流行が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、私たちの間に築かれてきた強い友情と信頼関係に基づき、今回特別なお願いを申し上げたくご連絡差し上げました。それは、私たちが 15 年近く管理している児童養護施設「SPUTNIK ガールズホーム」の今後の運営のため、安定的な財政支援を確保することです。



非常に残念なことに、COVID-19 の世界的な大流行の波を受け、ガールズホームの主な資金源である「SPUTNIK 日本語キャンパス」からの収入は大幅に減少しました。私たちは現在、必要経費をはるかに下回る予算でガールズホームを運営せざるを得ない状況です。したがって、恥ずかしながら世界中の友人の皆様のご援助を切実に必要としております。

そこで、誠に勝手ながら新しい取り組みとして、年に 1 日だけガールズホームの子どもたちの食事を支援する「365 プロジェクト」を開始することとなりました。合計で延べ 365 人の、スポンサーになってくださる心優しい方々を探すプロジェクトです。

幼い子から高校生まで 20 人の育ち盛りの子どもたちに必要な、栄養価の高い食事を日に 3 度提供するために、毎日 10,000 – 15,000 スリランカルピー (約 10,000 円) の費用がかかります。それには食事の材料費に加え、教育や健康管理のための費用も含まれます。さらに、彼女たちの父また母である献身的な 10 人のスタッフの人件費など、ガールズホームを運営するために必要な支出全てがその金額で賄われます。

ご賛同いただける友人の皆様のために、このプロジェクトへの参加方法を以下にお知らせいたします。

まず、弊社のウェブサイト sputnik.lk/365 にアクセスしてください。「365 プロジェクト」に進みます。利用可能な日付のいずれかを選択し、予約します。毎年特定のその日は、貴殿が食事や運営のスポンサーです。選択されたその日は、人生での特別な日付、例えば誕生日や結婚記念日でしょうか。子どもたちやスタッフには、毎年その日は貴殿が今日のスポンサーであると知らせます。また、後日その特別な日に撮った私たちの写真と感謝状をお送りします。

繰り返しになりますが、私たちは合計で延べ 365 人のスポンサーを探しております。しかし私たちだけの力で達成することは到底不可能です。そこで、不躰なお願いで大変恐縮ですが、ご親戚やご友人など幅広くこのプロジェクトについてご紹介いただければ幸いです。私たちや、児童養護施設である「SPUTNIK ガールズホーム」をご存知ではない方々のために、活動の詳細が含まれたレポートを用意いたしました。目を通された方のうち、少しでも多くの方が私たちの活動にご賛同いただけることを願っています。

何卒ご理解賜りますよう心からお願い申し上げます。

敬具

エシャンタ・アリヤダーサ

Eshantha Ariyadasa

Founder / Chairman – Sputnik Girls Home

Gepallawa, Uhumeeya, Kurunegala

Email: eshanthaariyadasa@gmail.com

Telephone: +94 773561516 / +94 372238600